

NITアカウントのユーザ名・パスワードで 学外からデータベース、や電子ジャーナル、 電子ブックが利用できるようになりました!

《利用対象》

本学の教職員、学生などNITアカウントをお持ちの方



GakuNin

《対象の電子資料》

データベース	ジャパンレレッジLib	約80種類の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典を閲覧できる。
電子ブック	Maruzen eBook Library	本学で契約している電子ブックが閲覧可能。
	EBSCO eBooks	本学で契約している電子ブックが閲覧可能。
電子ジャーナル	ACS Core Plus	アメリカ化学会 (American Chemical Society) が発行する雑誌のうち20タイトルが閲覧可能
	IEEEExplore	IEEE (米国電気電子工学会) が発行する定期刊行物200タイトルの他、会議録、規格などが閲覧可能。
	「Sensors and Actuators A」	物理トランスデューサの研究開発に特化した学術誌。Science Directサイトで閲覧可能。
	NII電子リソースリポジトリ (NII-REO)	学術誌のバックファイル (過去分) を閲覧できる。Taylor & Francis Online Journal Classic Archives (1798-1996、Oxford University Press: Online Collection (1996-2003))、Springer: Online Journal Archive (1832-1999)、Springer Journal Archive、Lecture Notes in Computer Science (Vol. 1501 - Vol. 1760)
	Royal Society of Chemistry	英国王立化学会 (Royal Society of Chemistry) が発行する雑誌49タイトルが閲覧可能。
	「Japanese journal of applied physics」	応用物理学会の英文論文誌。IOPサイトで閲覧可能。
情報処理学会電子図書館 (情報学広場)	「情報処理学会論文誌 (ジャーナル)」「情報処理学会論文誌 (トランザクション)」「情報処理学会研究報告」が閲覧可能。	

《利用方法》

- ①各電子資料サイトで表示される「学認 (GakuNin) でログイン」「Search for your Institution」「Institutional Sign In」「JAPAN (GakuNin) federation」などから、「日本工業大学」や「Nippon Institute of Technology」を選択。
- ②Extic 認証画面が表示されたら、NITアカウントのユーザ名・パスワード、ワンタイムパスワードを入力。
- ③uApprove (属性情報送出同意機能) 画面が表示されるので、「同意する」を選択。

※詳しい利用方法は、LCセンター (図書館) のホームページをご覧ください。

LCセンターホームページ (<https://library.nit.ac.jp>) → 資料を探す → データベース など

※多要素認証アプリ「Microsoft Authenticator」の利用設定が必要です。

アプリの設定やNITアカウントについては、学園ネットワーク・サポートデスク にお問合せください。



《注意事項》

- ・本学で契約しているすべての電子資料が学認利用対象ではありません。
- ・これまで通り、個人アカウント作成や機器ペアリング等の設定で学外から利用する電子資料もあります。